

Gorgona Rosso 2022



Gorgona Rosso 2022

Costa Toscana IGT

「トスカーナ群島は地上の楽園であり、中でもゴルゴーナ島は最も野性的でルミネセンスなアフロディテの真珠といえる。この、一見気難しそうな姿の裏に隠された言葉では表現できないほどの魅惑的な香りと静寂さ、自然の力強さと永遠の若々しさに心を動かされる。そして、空からのメッセージを映し出し、帆網をきつく縛める海がその周りを囲む。」(アンドレア・ボチェッリー2014) ゴルゴーナ・プロジェクトは、フレスコバルディとヨーロッパで唯一の刑事施設として存在する島ゴルゴーナとの協力により2012年8月に誕生しました。この島で受刑者は、社会的・労務的復帰を容易にする職業訓練を行うため、自然と触れ合い働きながら、刑期の最終期間を過ごします。海が一望できる、すり鉢状の地形の中心にある小さなブドウ畑からこのプロジェクトは始まりました。フレスコバルディに従事する農学や醸造の専門家たちの指導と協力のもと、ブドウ栽培分野の具体的な実技と経験を積むことを目的としています。ゴルゴーナ・ロッソは2015年に収穫・披露されました。サンジョヴェーゼとヴェルメンティーノ・ネロの品種を有機栽培し、テラコッタ製の壺で熟成させていきます。ゴルゴーナ・ロッソのラベルは希望と社会復帰への想いを表しています。ワイン造りで培った大切な経験が受刑者たちにとって社会参加への新たな一ページを築くための手助けとなればとの願いが込められています。



気候動向

ゴルゴーナ・ロッソのラベルは希望と社会復帰への想いを表しています。ワイン造りで培った大切な経験が受刑者たちにとって社会参加への新たな一ページを築くための手助けとなればとの願いが込められています。秋のゴルゴーナは、11月に集中して降った雨を特徴としました。12月と1月の冬の季節は降雨量が少ないだけでなく、平年より高い気温を記録しました。春が訪れようとしている3月最終週に急な気温の低下が見られたことから、例年と比較し10日ほど発芽が遅れました。春は一定の間隔で降雨が見られましたが豪雨とはならなかったことから、その後の夏にかけてブドウ樹は順調に育ちました。7月と8月は、常に吹く海風により和らぎはしましたが、非常に乾燥し暑い日が続きました。

説明技術的な注意事項

グラスに注ぐと、濃厚で鮮やかな深紅の色合いが広がります。香りは、地中海の草花から赤い果実まで多彩なブーケが広がり、特にローズマリー、マスティック、セージ、クローブ、ブルーベリー、スグリ、ブラックベリーのニュアンスが感じられます。口に含むと、まるで包み込まれるような温かみが広がり、海沿いのブドウ畑で育まれたワインならではの素晴らしい風味が続きます。味わいと香りのバランスは驚くほど見事で、極めて調和の取れたワインです。